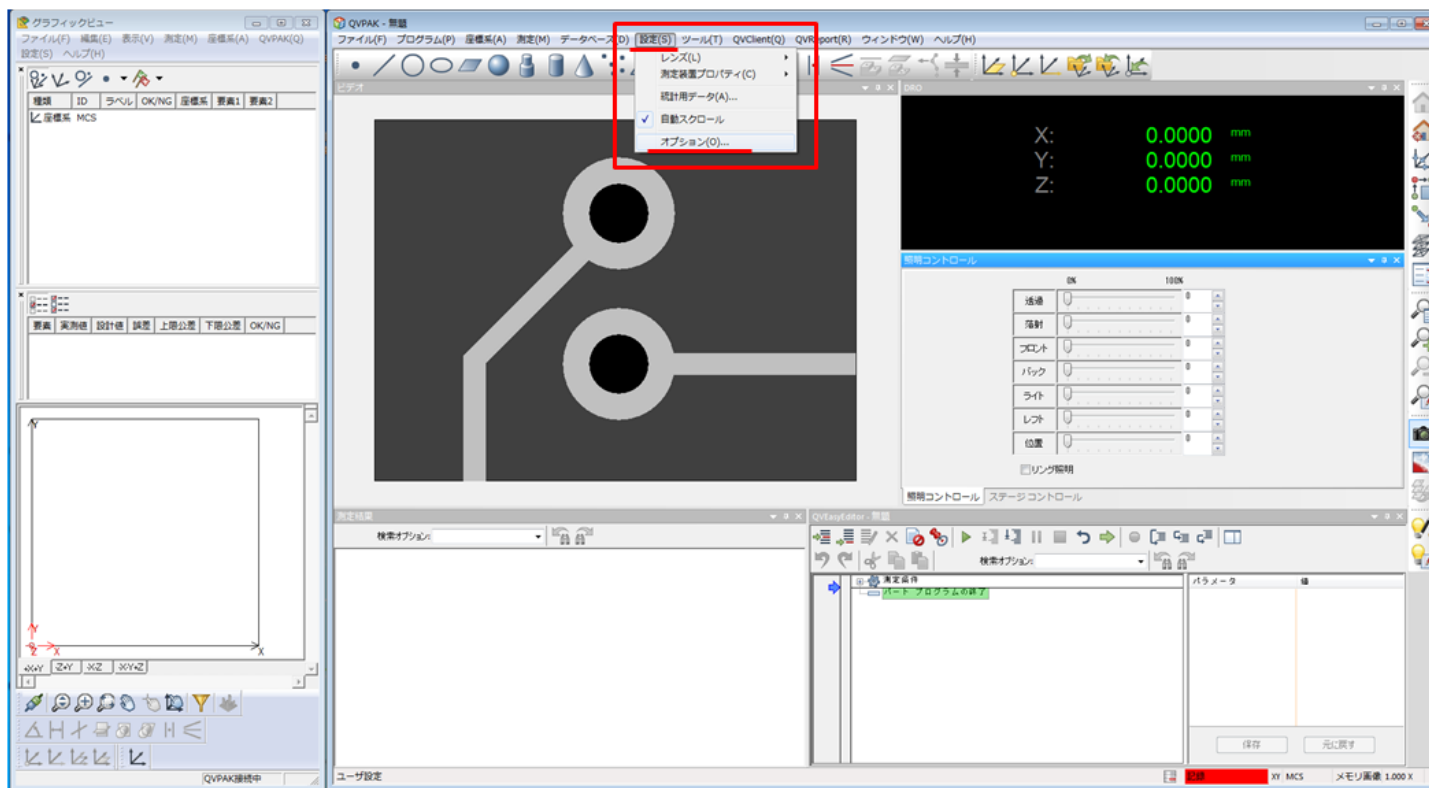


QVPAKの設定オプションの解説

概要

QVPAK内の表記方法など、お客様の用途に合わせて、使い勝手の良いように表示のカスタマイズが可能です。

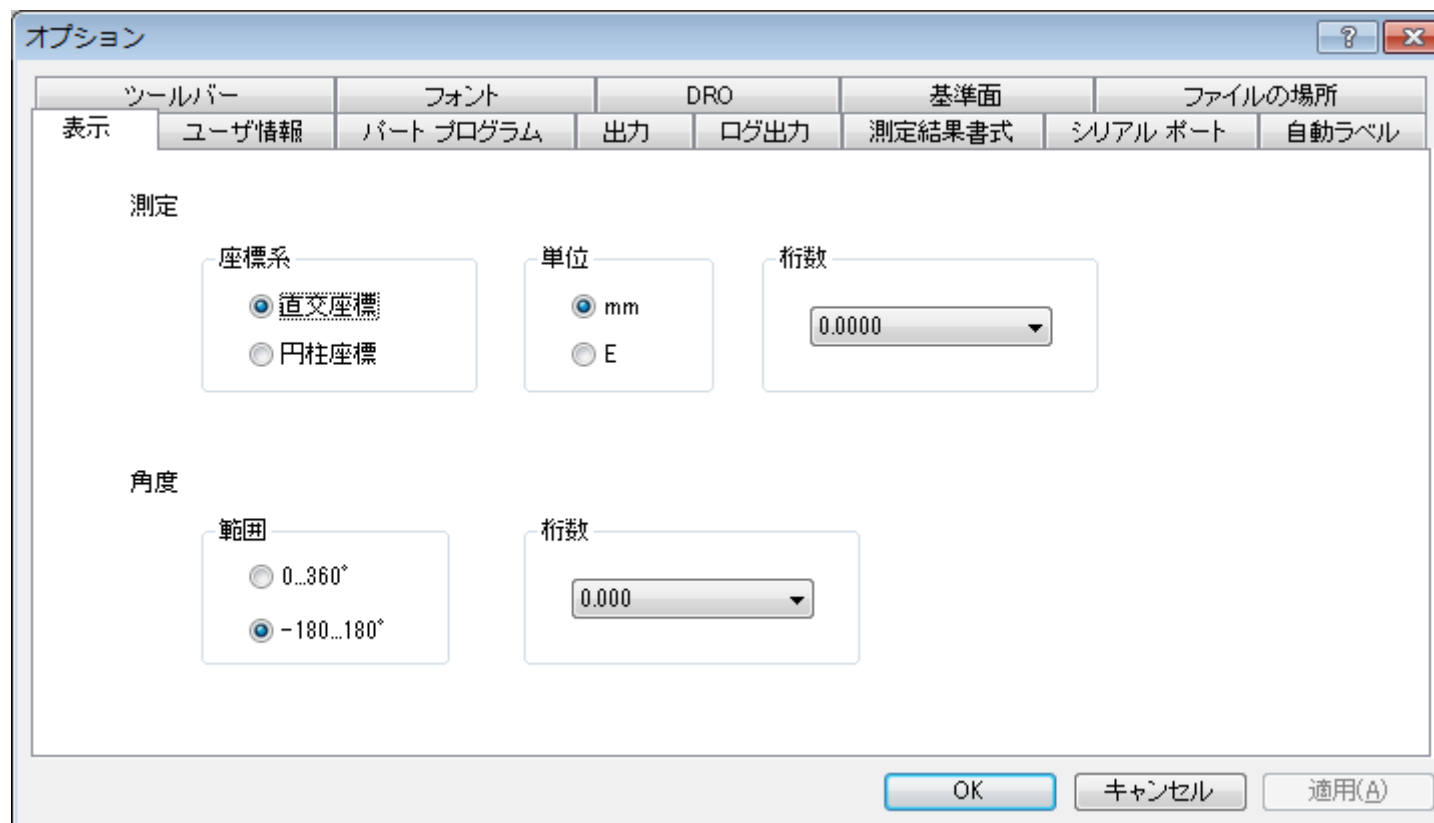
本資料では、設定オプション内の各項目についての解説を致します。



※本解説はQVPAK V12.0を用いてになります。

「表示」タブ

測定結果ウィンドウへ表示する測定結果の座標モードや桁数、角度においては0～360° か±180°、10進数(0.xxx)か60進数(度分秒)の表示に変更することができます。



「ユーザ情報」タブ

各入力欄に予め情報を入力しておく事で、測定結果ウインドウに表示させる事が出来ます。

※表示には「メニューバー：プログラム→メッセージ→ユーザ情報」と、いった操作が必要です。

The image shows a screenshot of a software dialog box titled 'オプション' (Options). The 'ユーザ情報' (User Information) tab is selected. The dialog box contains several input fields for user information:

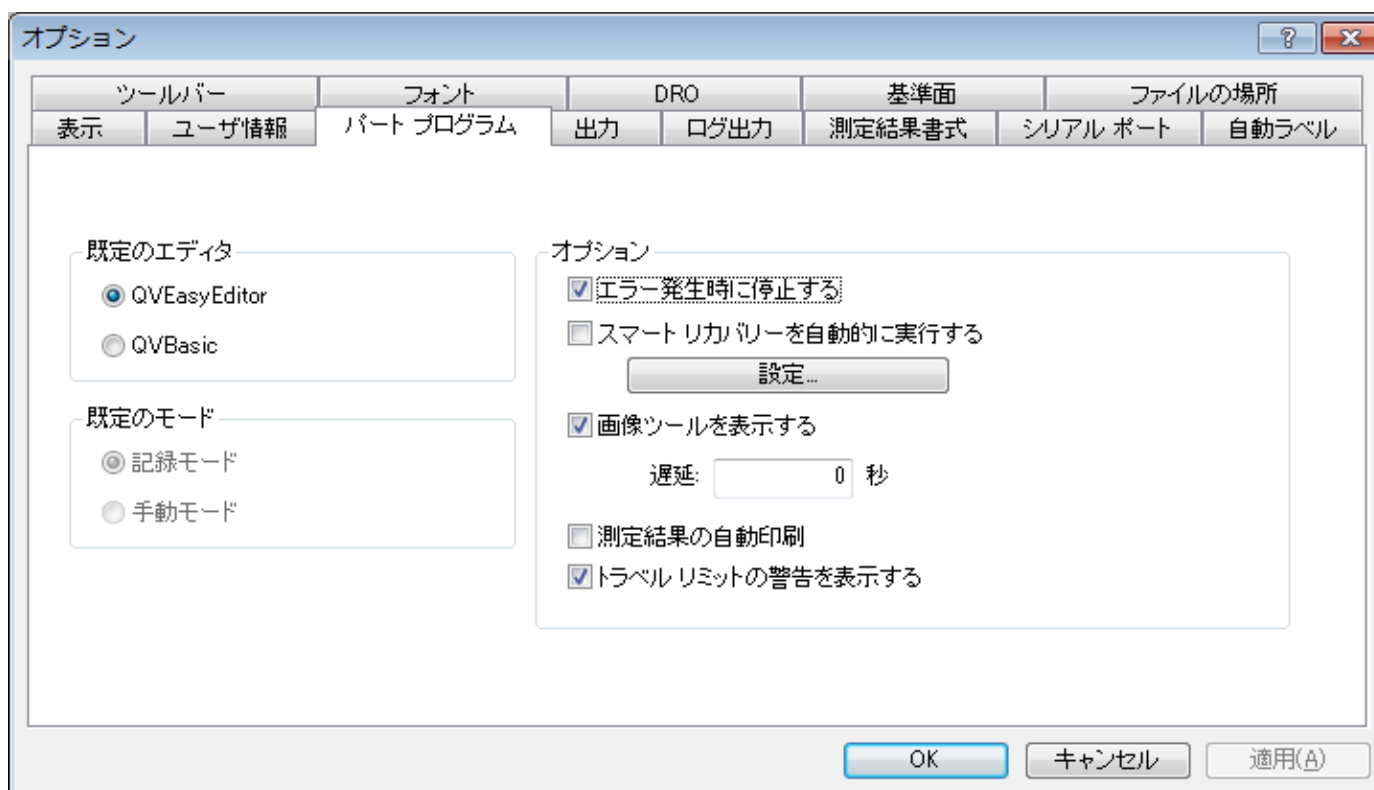
ツールバー	フォント	DRO	基準面	ファイルの場所			
表示	ユーザ情報	パート プログラム	出力	ログ出力	測定結果書式	シリアル ポート	自動ラベル

ユーザ名
|
会社名
マシン ID
パーツ名
パーツ番号
ロット番号
コメント

Buttons: OK, キャンセル, 適用(A)

「パートプログラム」タブ

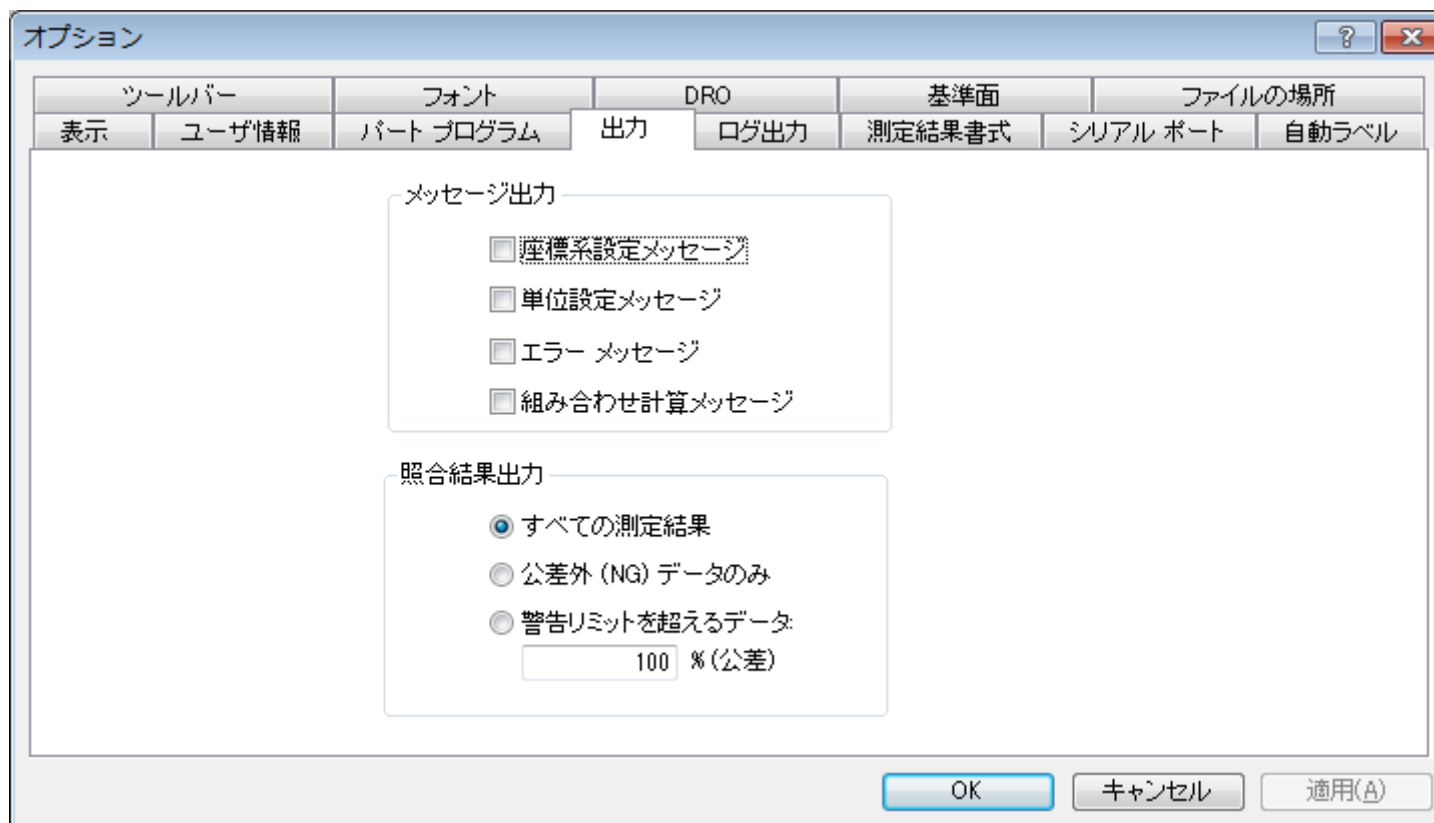
- 既定のエディタ : QVPAK起動時のデフォルトパートプログラムモードを選択する事が出来ます。
- 既定のモード : 既定のエディタでQVBasicを選択した際に、デフォルトをパートプログラム記録モードにするか手動測定モードにするかを設定できます。
- ※QVEasyEditorは既定のモードを選択・設定することは出来ません。
- オプション : ツールエラー時に自動スキップを行ったり、指定秒数後に遅延処理を行う様にしたり、パートプログラム実行後に測定結果の自動印刷を行う様にしたり等の設定が出来ます。



「出力」タブ

メッセージ出力 : 各項目に該当する操作(座標系設定/組み合わせ計算/ツールエラー/単位・桁数変更)を行った際、測定結果ウィンドウに履歴メッセージを表示する様に出来ます。

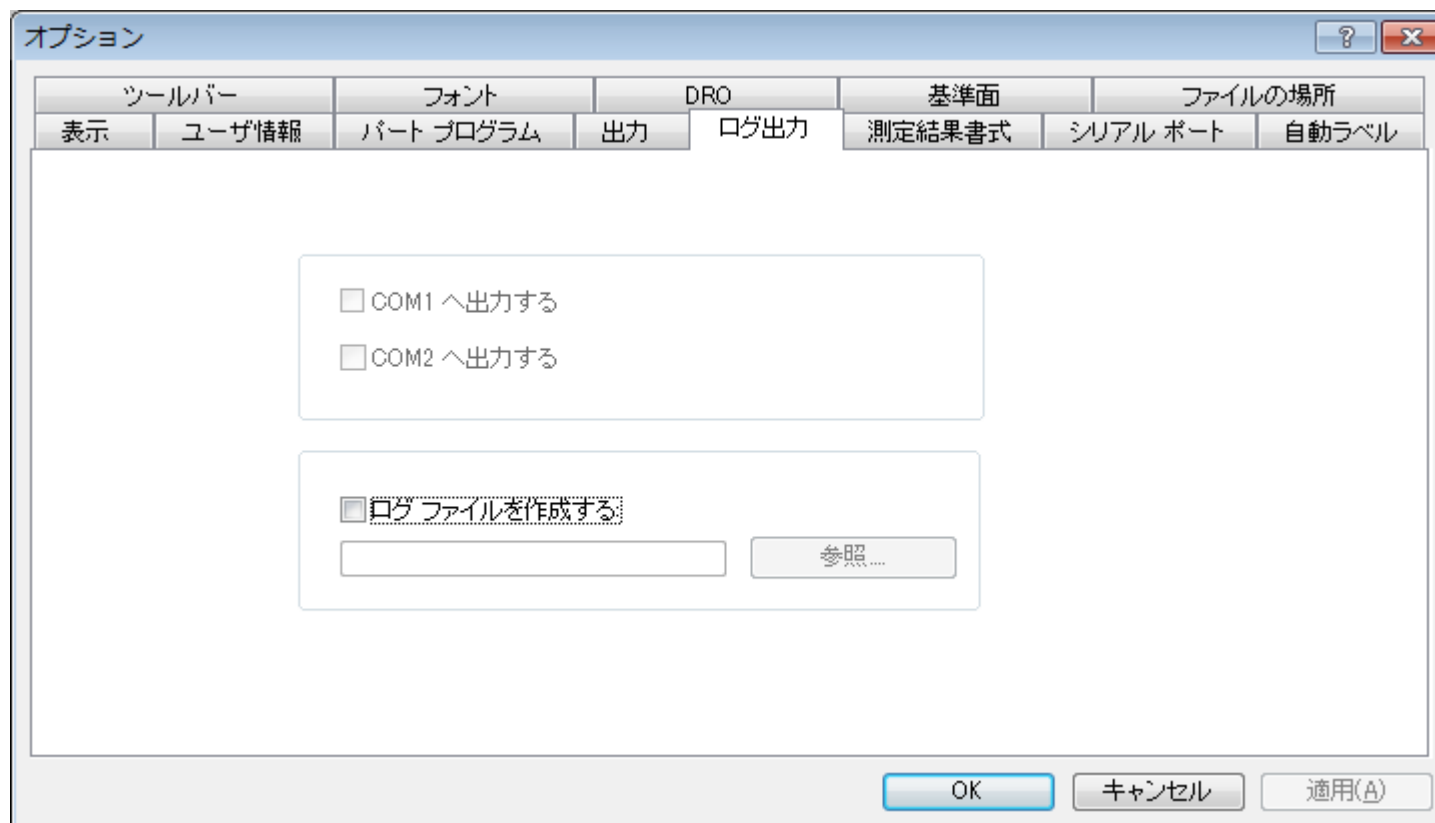
照合結果出力 : 公差判定を行った際、測定結果ウィンドウにNG箇所のみを表示する等の変更・設定が出来ます。



「ログ出力」タブ

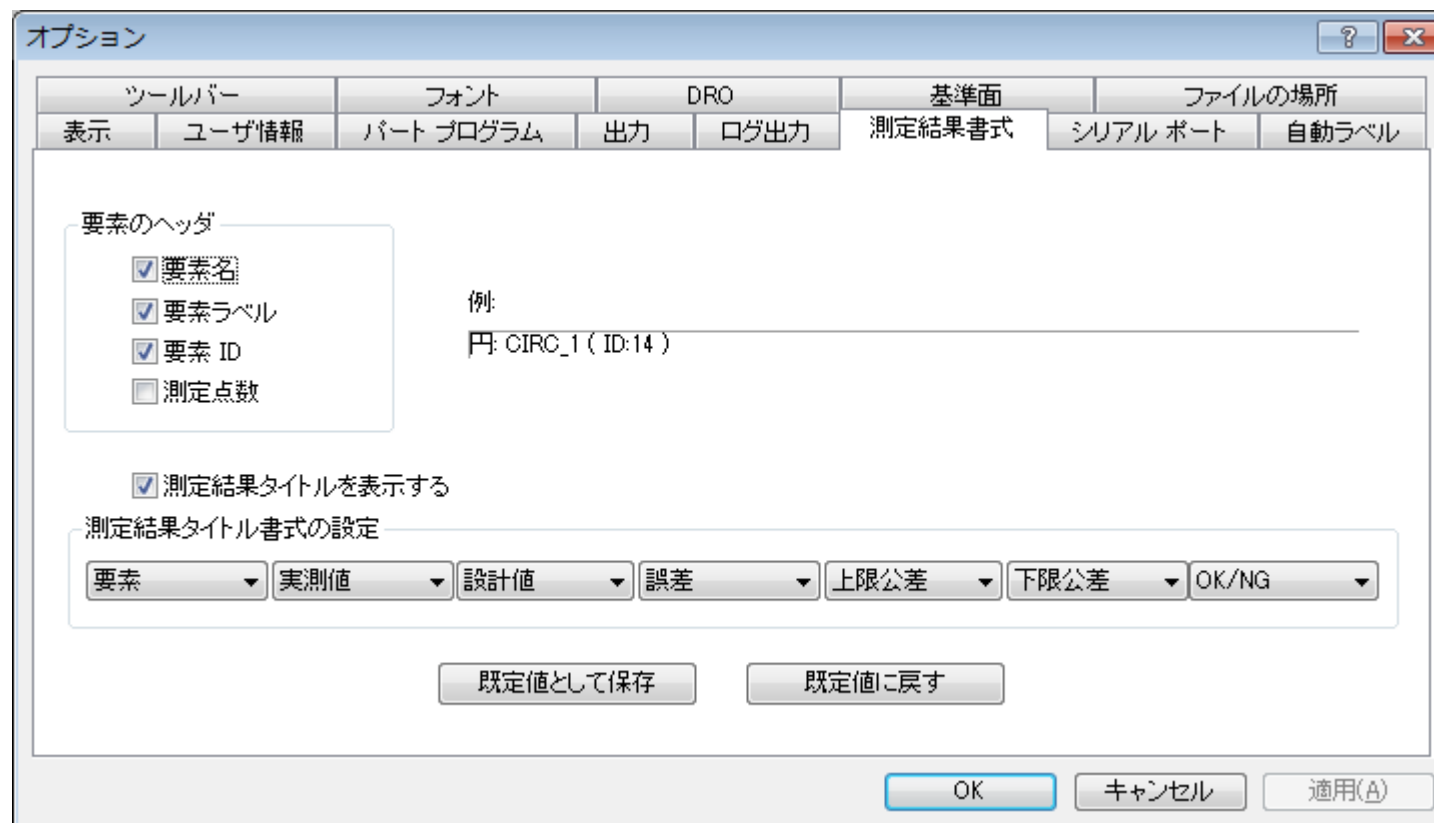
COM1・2へ出力する : 測定結果ウインドウと、RS-232Cで接続された別途PCの両方へ、測定結果を出力できます。

ログファイルを作成する : 測定結果ウインドウと、予め作成してある指定テキストファイルの両方へ、測定結果を出力できます。



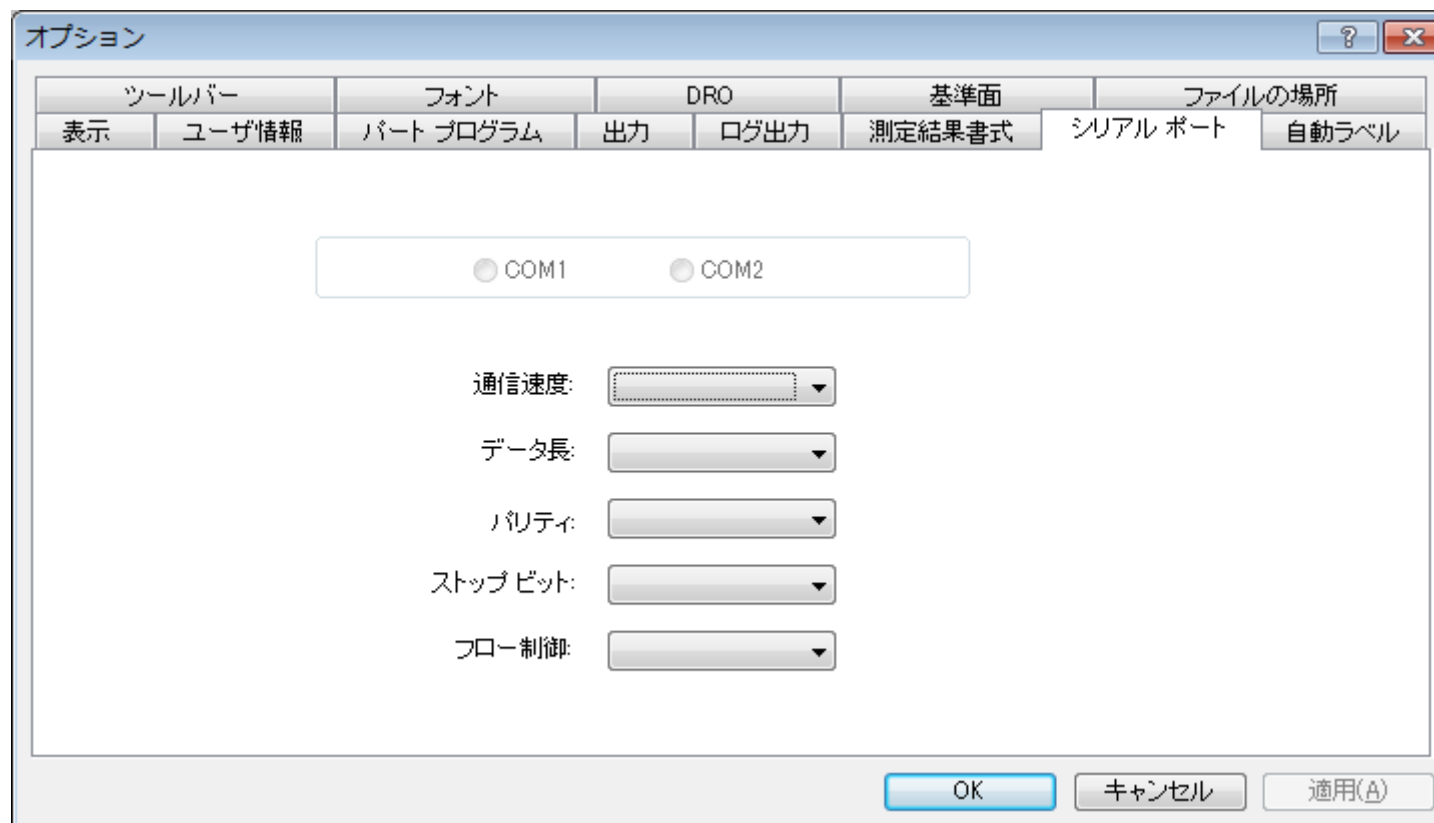
「測定結果書式」タブ

測定結果ウインドウに出力される、測定要素の表示方法を変更・設定できます。



「シリアルポート」タブ

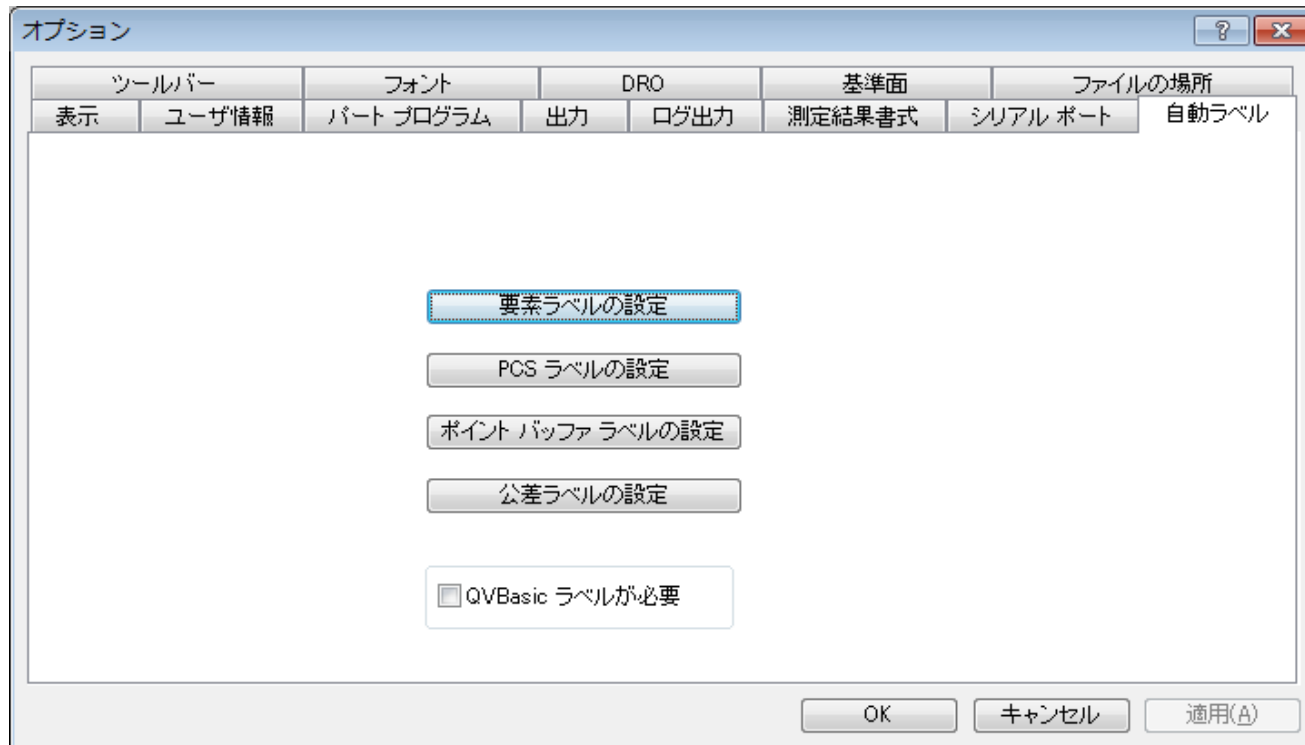
RS-232Cにて接続された別途PCとの通信方式の設定が出来ます。
双方での設定が不適切な場合、通信が出来ませんのでご注意ください。



「自動ラベル」タブ

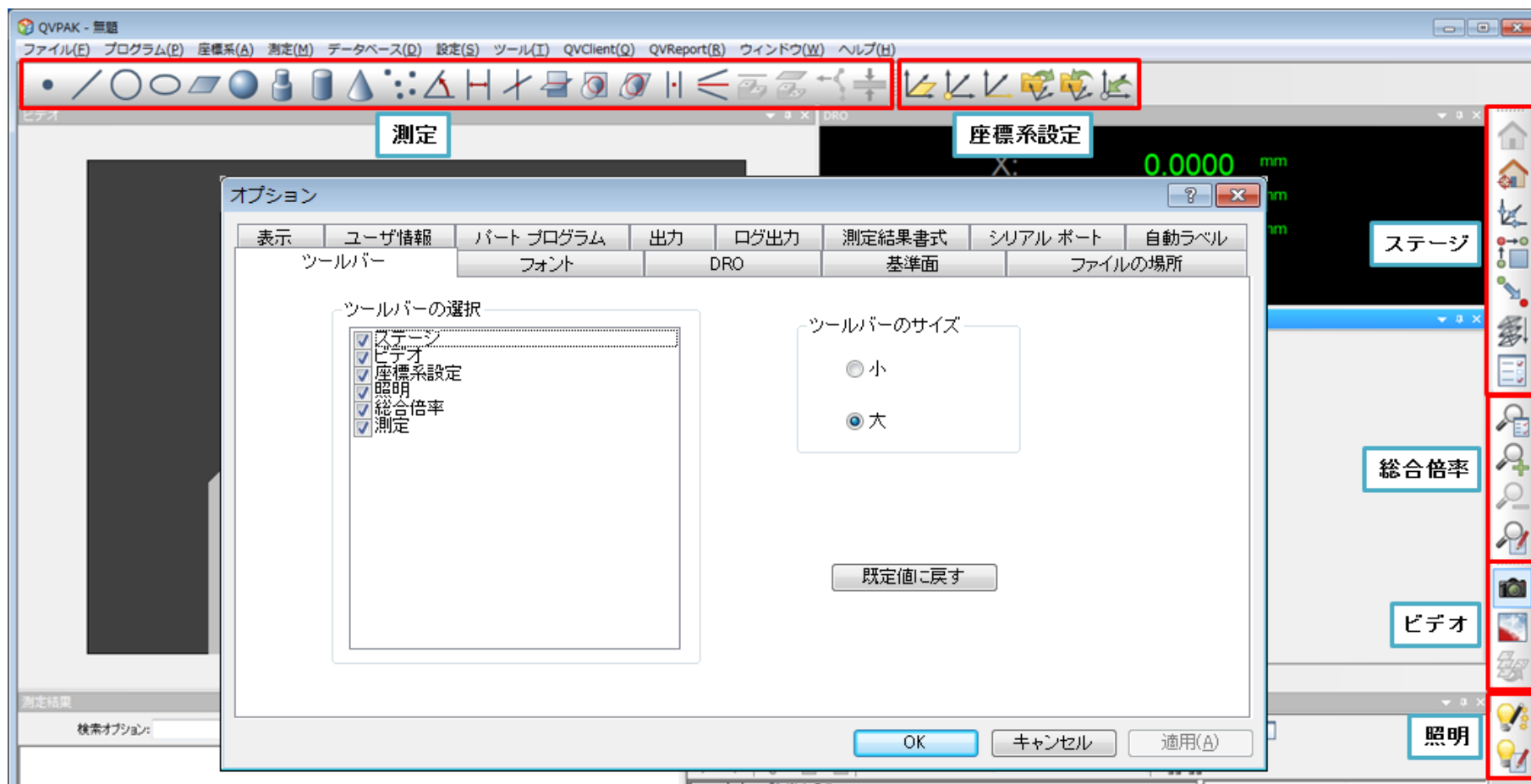
- 要素ラベルの設定 : 各測定要素の作成時、測定結果ダイアログに表示される自動ラベル名の設定が出来ます。
- PCSラベルの設定 : 作成したPCSの保存時において使用される自動ラベル名の設定が出来ます。
- ポイントバッファラベルの設定 : ポイントバッファの保存時において使用される自動ラベル名の設定が出来ます。
- 公差ラベルの設定 : 各公差の作成時において使用される自動ラベル名の設定が出来ます。
- QVBasicラベルが必要 : QVBasicの使用時にラベル付けが必須になる様に選択出来ます。

※チェック有りの状態でラベルを付けていないQVBasicパートプログラムを実行するとエラーになります。ご注意ください。



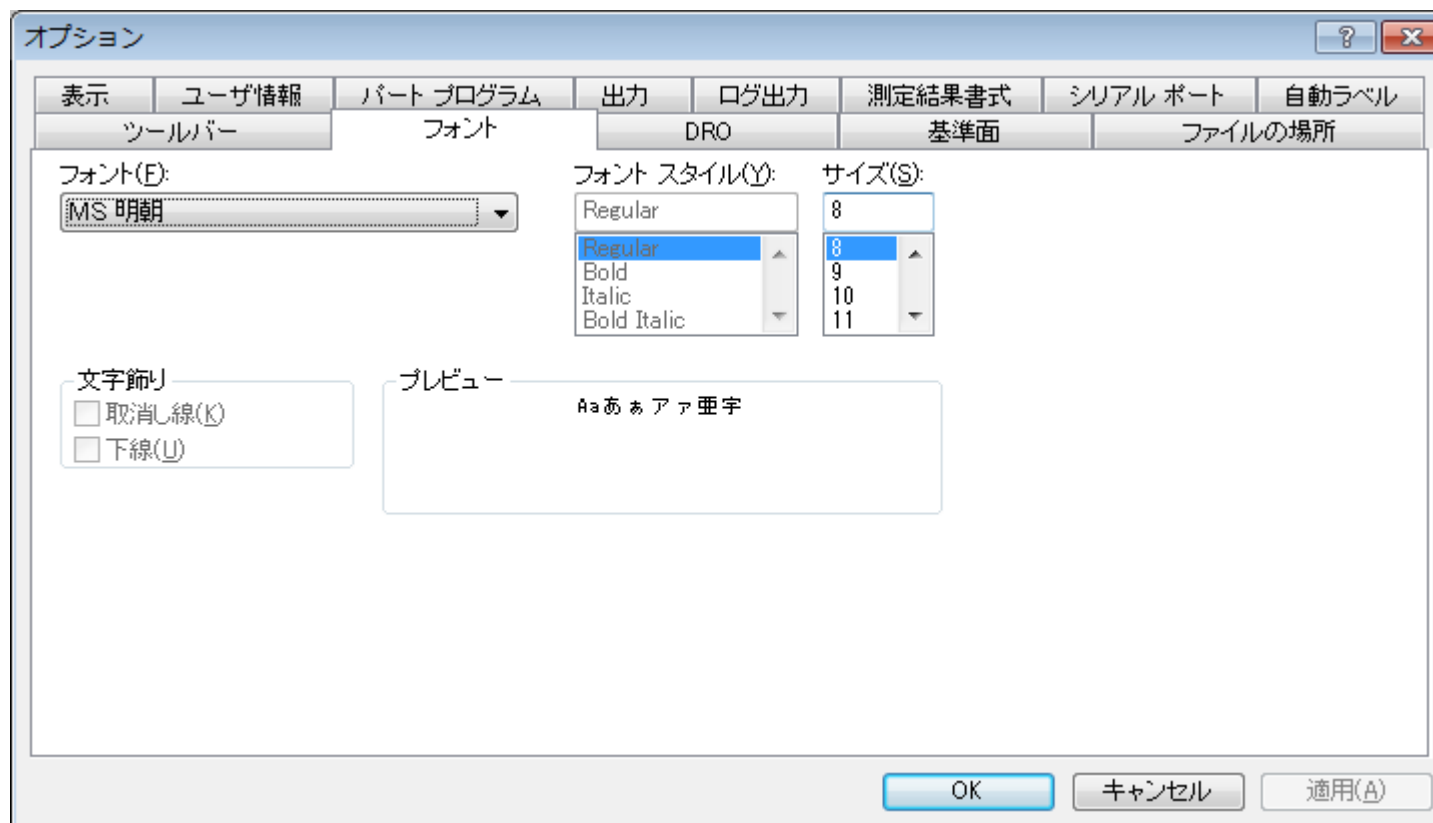
「ツールバー」タブ

QVPAK画面に表示される各コマンドツールバーの表示/非表示や、表示サイズの変更が設定出来ます。



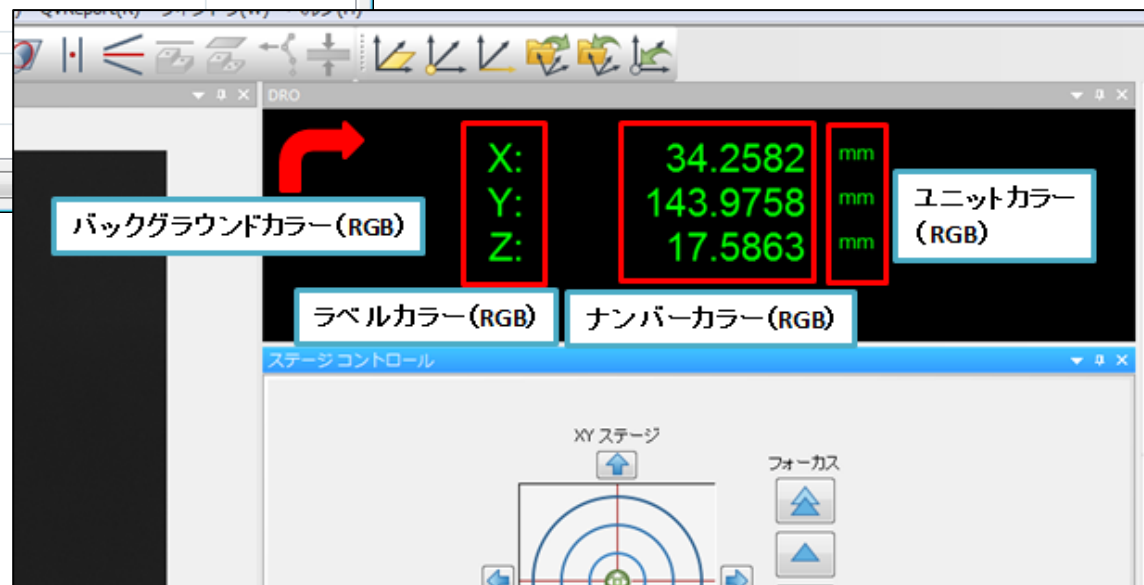
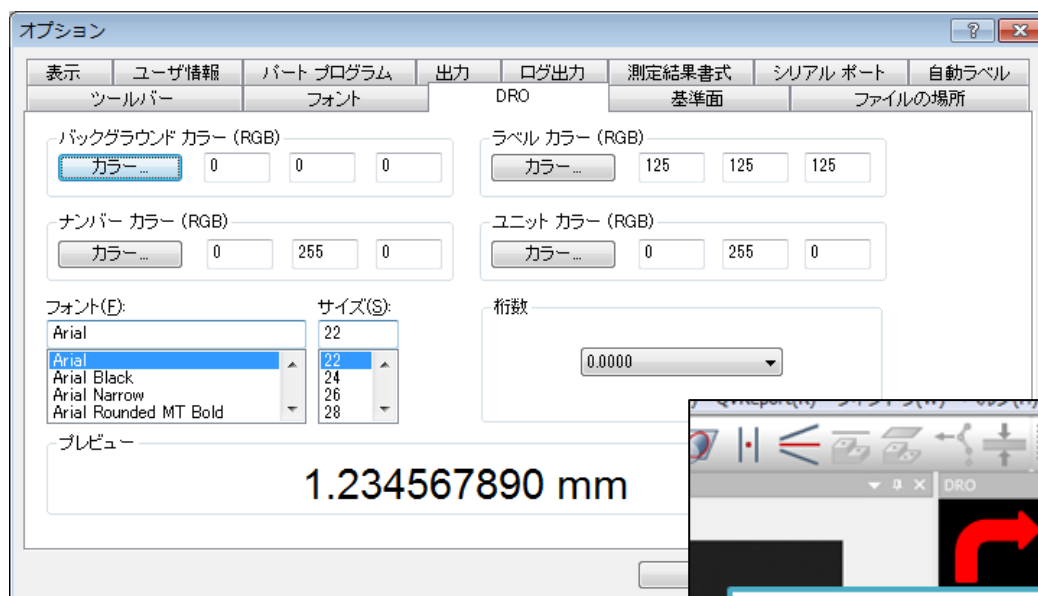
「フォント」タブ

測定結果ウインドウに表示される文字/数字のスタイルやサイズを設定出来ます。



「DRO」タブ

DRO (Digital Read Out) ウィンドウのフォーマットを設定することができます。
各項目のカラー設定や文字スタイル/サイズ、小数点以下の表示桁数設定が可能です。

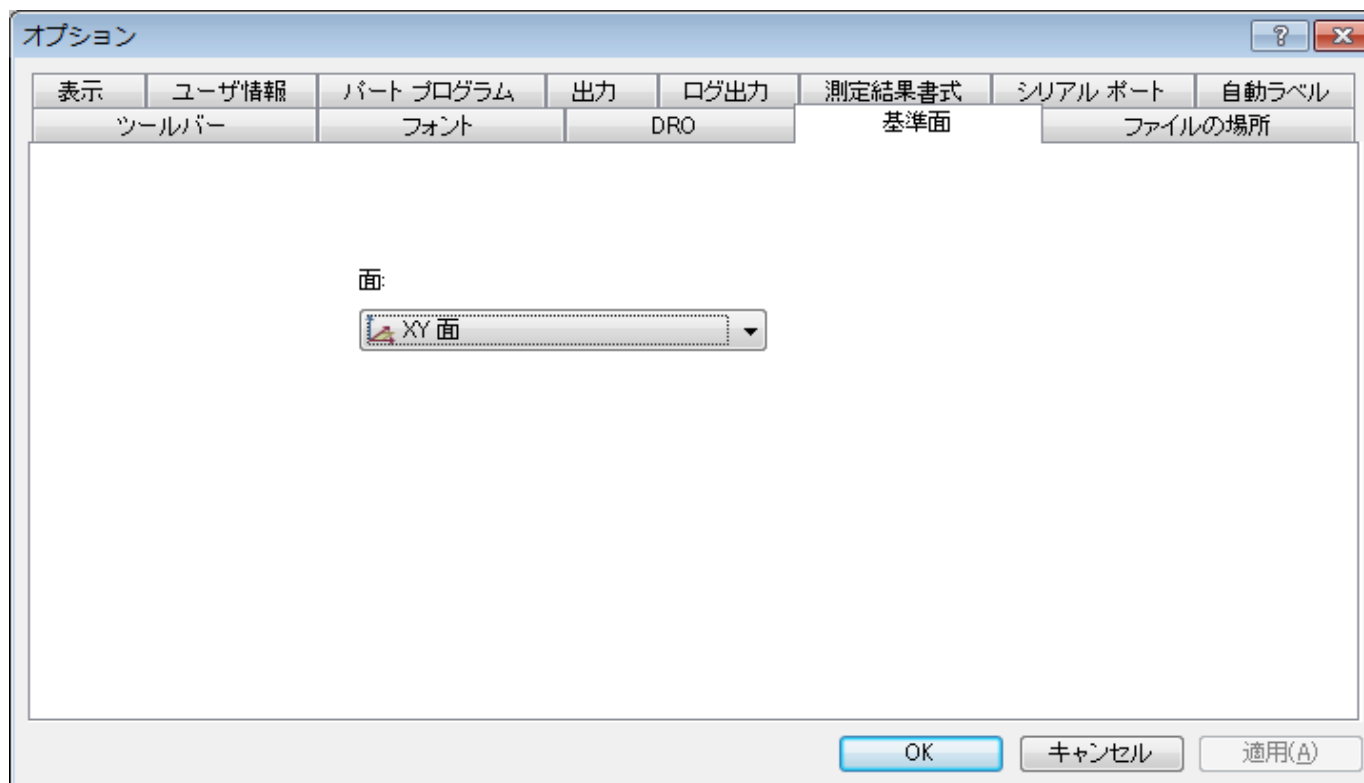


「基準面」タブ

既定の投影面として使用する基準面を指定設定が出来ます。
使用可能な面は以下の通りです。

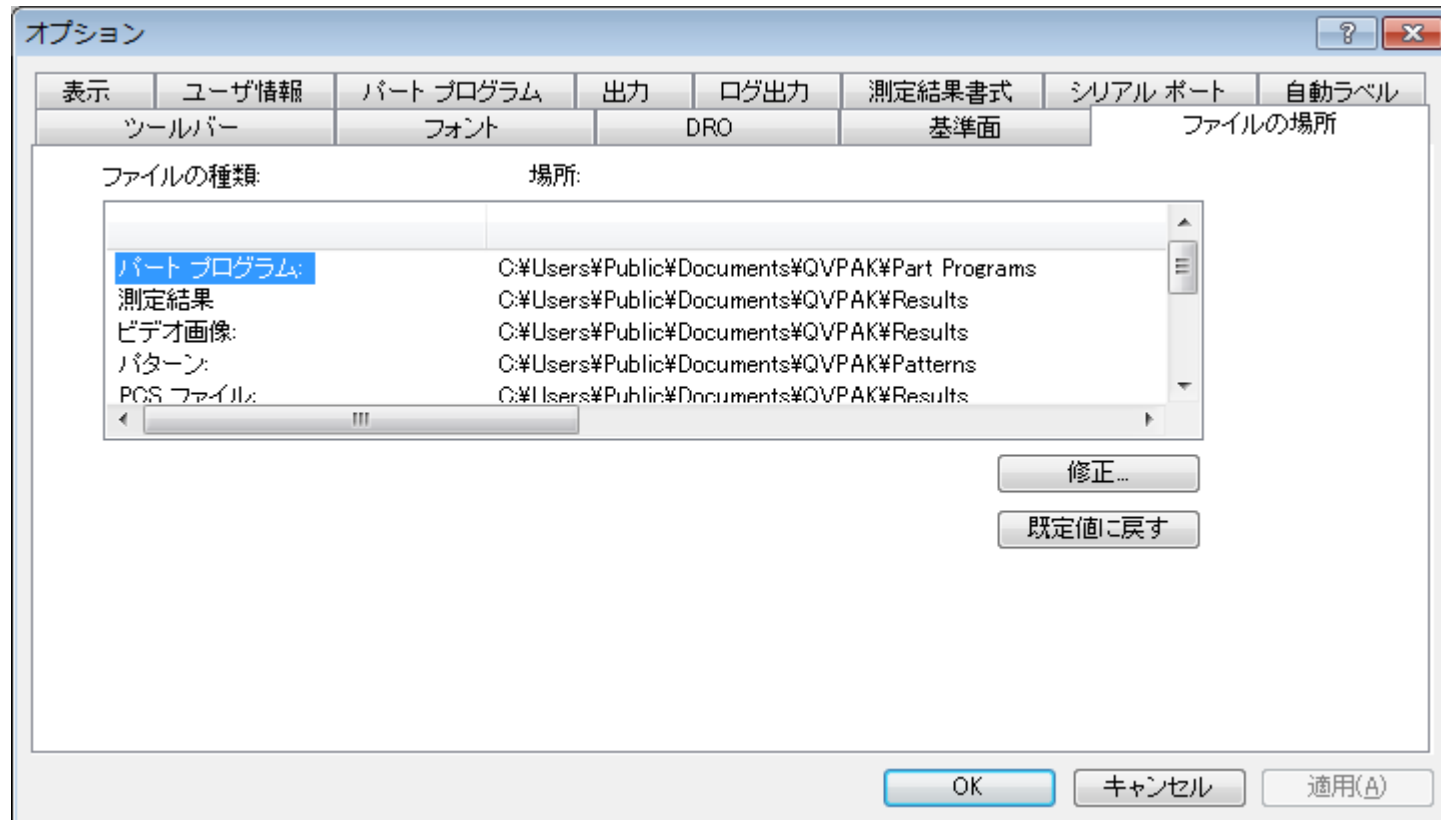
- ・XY平面（既定の設定）
- ・YZ平面
- ・ZX平面

※あくまで面設定時にデフォルトで表示される面の設定であり、測定結果ダイアログ上で他の面へ柔軟に指定出来ます。



「ファイルの場所」タブ

QVPAKで使用する各ファイルを開く・保存を行う際に既定で開くフォルダを設定出来ます。
変更したい項目を左クリック後に、「修正」ボタンを押し、既定化したいフォルダを指定します。



ご不明な部分は、お手数ですが弊社カスタマーサポートセンターまでご連絡をお願いいたします

ミットヨ・カスタマーサポートセンタ

TEL:050-3786-3214